

平成27年度(2015年度)事業報告書

平成28(2016)年5月28日

NPO 法人芦屋市国際交流協会

1、潮芦屋交流センター施設（貸室、貸コート）運営事業

	平成27年度利用実績金額			実利用者数比較			利用率(%)比較		
	(単位:円)	予算比(%)	前年比(%)	平成27年	平成26年	平成25年	平成27年	平成26年	平成25年
[施設賃貸事業収入合計]	13,087,999	109%	109%	52,333	47,382	45,904	54	49	47
・集会所(1階)	2,024,220	116%	118%	12,874	12,978	15,807	47	38	42
・国際交流センター(2階)	2,260,690	118%	114%	20,503	18,112	14,126	32	29	25
・テニスコート	5,268,120	109%	108%	18,956	16,292	15,971	93	85	82
・付属設備利用料	610,290	99%	96%	-	-	-	-	-	-
・一般コピー売り上げ	53,040	-	-	-	-	-	-	-	-
・駐車場利用料	2,526,150	101%	101%	-	-	-	-	-	-
・自販機収入	345,489	105%	106%	-	-	-	-	-	-

*平成27年度の貸室利用状況は、前年度に比較して全般的に上昇傾向に有るが、これは上宮川文化センター及び体育館・青少年センターの改修工事のため、利用者が当センターに流れた影響もあると考えられ、次年度の4月からの利用状況をみて一過性のものかどうか判断したい。加えてテニスコートの利用率は年々上昇しており、天候条件を加味するとほぼ100%に近い運用状況になっている。

*今年度から利用者の利便性を高める為、8月から1Fロビーにコピー機を設置した。

(有料使用)

2、語学教室事業

1) 英語・英会話・スペイン語教室

	講師名	曜日	時間	場所
英語	五十嵐 かほる	水	10:00~11:45	市民センター
	楠 純子	火	10:15~12:00	
	稲鍵 亜早子	木	10:00~11:45	
	御園生 寛子	金	10:15~12:00	
英会話	John Dix	木	10:00~11:30	大原集会所
	Stephen Donald	木	15:00~16:30	
	Mathew Glen Boyd	金	10:00~11:30	市民センター
	John Dix	火	10:15~11:45	潮芦屋交流センター
		木	13:30~15:00	
	Stephen Donald	月	10:15~11:45	
金		10:15~11:45		
Mathew Glen Boyd	木	18:35~20:05		
西語	Marco Venicio	火	13:30~15:00	

2) 語学教室事業

平成27年度は英語4クラス、英会話8クラス、スペイン語1クラスの計13クラス(生徒数101名)で開始した。年度末においてもクラス数に変更はなく受講者も101人と同数で推移した。

また、採算性を良くする必要もある為、全クラスとも各クラス50円の値上を実施した。

英語、スペイン語以外に、新しい講座としてはACA セミナー(ゲアテ)を担当頂いた大阪大学 林名誉教授によるドイツ語開講の検討を進めている。

3、姉妹都市交流事業

1) 第51回姉妹都市学生親善使節交換事業

例年通り、芦屋市と米国モンテベロ市との間で、51回目の学生親善使節(SA)2名ずつの相互訪問が行われた。予算的には、市からの委託料として103.4万円が認められた。

今年度から谷崎潤一郎記念館の入館料が有償になったり、サマーカーニバルのグループ席が市民まつり協議会の支援もあり無料になったりと出入りはあったものの、概ね予算通りの収支となった。

- *派遣SA：(7/27-8/18) 加輪上 創介 (高校1年・男性)
昆 れい奈 (高校1年・女性)
- *受入SA：(7/21-8/10) クリスチャン ヘレラ (高校生17才・男性)
ステファニー ゴンザレス (高校生16才・女性)

*ホームステイ状況

芦屋市の一般市民から、ホームステイ先のホストファミリーを7家庭募り、各家庭にモンテベロ市SAを1名ずつ、約1週間ホームステイしてもらった。

*実施した主要行事

- ・歓送迎会、市長議長、消防署、警察署訪問、書道、華道体験 (7/22)
- ・市内見学 (7/23)
- ・芦屋市小中学校交流訪問 (7/24、7/30) 宮川小、山手中、芦屋学園
- ・能体験 (7/24)
- ・芦屋サマーカーニバル(花火大会、浴衣コンテスト) (7/25)
- ・ハワイアンコンサートで紹介 (7/26)
- ・ドラゴンボートレース参加 (8/1、8/2)
- ・広島ツアー (8/7)
- ・さよならパーティー (8/8)
- ・芦屋SA帰国報告会 (9/12)

今年度は、ホストアンバサダー制度も3年目となり、10名を選定し、交流行事にSAのホスト役として積極的に参加して貰うなど、交流活動の活性化も定着して来た。

市民との交流では、宮川小学校を訪問し、1年から6年までの41名の児童、校長及び教頭先生、担当教師、児童の父兄、教育委員会と幅広く市民と親交を深める事ができた。期間中の市民との交流人数はおよそ700名にのぼる。

*2016年度のSAの選考結果

次年度の派遣SAの選考試験は、芦屋市も選考メンバーに加え、筆記試験及び面接による口頭諮問で厳正に評価した結果、下記の2名を決定した。

- ・山崎 真奈 (高校1年・女性) 佐治百合恵 (高校1年・女性)

4、外国人のための日本語教室事業

平成 27 年度は北教室 1 クラス、潮芦屋交流センター 5 クラスの計 6 クラスで運営した。
受講料については、従来の 1 レッスン 100 円を 200 円へと増額を行っており、北クラスの教室は、市民活動センターの貸部屋にて開講している。

「こども教室」は 5～7 人の在籍で低調だったが、教室の開催日を金曜日から土曜日に移し、参加しやすい環境に変えてきている。今年度は初めての試みになるが学生インターンシップを受け入れ、講師のサポートを行った。

1) 日本語教室

クラス名	曜日	時間	場所
日本語教室 (大人対象)	火	10 : 15～11 : 45	あしや市民活動センター
	月	10 : 30～12 : 00	潮芦屋交流センター
		13 : 30～15 : 00	
	火	18 : 00～21 : 00	
	木	10 : 30～15 : 00	
土	10 : 30～12 : 00		
こどものための日本語教室	土	10 : 30～12 : 00	

2) 文化教室

平成 27 年度には華道教室、書道教室に加え新たに茶道教室を開催して、3 教室とも年間を通して開催する事が出来た。

華道は 7～8 名、書道は 2～3 名、茶道教室 5～6 名と数は限られた中でも日本文化に触れてもらえる機会となった。

3) ボランティア日本語講師養成講座

本講座は、五ヵ年計画になかったため開講しなかった。但し、日本語講師ブラッシュアップ研修については、県の国際交流協会の講師を招いて秋に(10～12 月) 3 回実施した。

これらの講座を継続して開講することにより、不足気味の日本語教師の養成とレベルアップを行い、芦屋市の外国人支援に寄与していきたいと考える。

5、神戸大学大学院、海技大学校への、日本語補講、日本事情研修の出張講義

平成 27 年度も前年度同様、ほぼ同じ内容の出張講義の実施依頼を両校から受けた為、各々対応した。

*神戸大学大学院：上期及び下期の 2 期に渡り 各期 16 コマ分 (1 コマ=90 分)

計 32 コマ分の日本語ブラッシュアップ講座実施。

*海技大学校：4 月の 3 日間に計 12 コマ分 (1 コマ=50 分) の日本事情講義実施。

6、世界の料理教室シリーズ

平成 27 年度は、お正月の 1 月を除き、年間 11 回 (定員 30 名/回) の教室を開講し、各国の料理のほか、薬膳料理教室も加え、年末にはお正月用料理教室も開講した。

昨今 90%程度の参加で定員に満たない回も有るので、オーソドックスな料理に加え、世界の珍し

い国、地域の料理、親子で参加、男の料理等の趣向を凝らしたメニューが必要とされる。

7、各種イベント事業の実施

1) 講演会の開催

①「街場の教育論、未来に羽ばたく子どもを育てるために」講演会

独自事業の講演会として、芦屋ラポルテホールを会場にし、神戸女学院大学 名誉教授で
武道家である内田樹氏を向かえて、子供の教育論の講演会を開催した。

「学校は本来生きる知恵と学びを高める場」であると説き、教育を軸足とした講演で、市外から
の参加者も多く好評を得た。(6/13 172名 参加)

②「ラトビアの日」講演会

外国紹介の講演会としては、欧州の「ラトビア」から大使を招聘し、自主事業として講演会を
行った。例年、大使や総領事の夫人による講演だったが、今回は、関係者に加え「ラトビア協会」
の協力もあり、大使自らの講演会を開催する事ができた(3/12 104名参加)。

2) ACAセミナー

上期：大阪大学 玉井名誉教授によるイギリス文学講座「イギリス19世紀文学の魅力」をテーマで
3回にわたり開催した。(4/16、5/21、6/18 合計 64名 参加)

下期：大阪大学 林名誉教授によるドイツ文学講座「ゲーテとともに今を生きる」をテーマに
3回開催した。(9/17、10/15、11/19 合計 68名 参加)

3) 潮芦屋トワイライトコンサート

7月：「ハワイアン夕べ」 (7/26：121名 入場)

9月：「バイオリンコンサート」 (9/26：67名 入場)

3月：「吹奏楽団」 (3/20：68名 入場)

と計3回のコンサートを実施した。

4) ACA ワールドフェスタ

11月に開催、世界8カ国の料理(950食 販売)と6つの音楽グループによる演奏・コーラスの公
演を開催するなど約230名(内外国人6カ国26名)の参加者を集めた。

5) その他のイベント

① 日本語教室バス旅行

国際親善のイベントとしては、平成27年度は5カ年計画にはなかったが、ユネスコ基金の助成
があり、11月に京都へのバス旅行が実現でき、太秦映画村見学、妙心寺での座禅体験もそのメ
ニューに加える事ができた。(11/7 53名参加 内外国人30名 参加)

② 春、夏の文化祭【ひな祭り、七夕】

7月及び2月には、七夕、ひな祭りを主テーマに県の国際交流協会の補助金も生かしながら日本
文化体験会を実施する事ができた。

【七夕】 (7/21 58名 参加)

ACA日本語教室の受講者、家族、友人を対象に、日本語学習者によるお国自慢スピーチ大会のあと、日本伝統行事の紹介イベント（おにぎりを作る、華道、茶道体験、七夕作り）を開催し、54名の参加者を集めて文化交流ができた。

【ひな祭り】 (2/27 60名 参加)

日本伝統行事の紹介イベント（餅つき、ひな祭り、日本の唱歌、お国自慢等）を楽しみ、外国人も含め60名の参加者を集めて文化交流ができた。

8、イングリッシュ&テニスくらぶ事業

『イングリッシュ&テニスくらぶ』教室は、平成27年度は3クラス受講生14名でスタート、途中退会、新規入会者により在籍者に3~4名の変動があり、年度終わりには新学からの塾等の習い事による退会者もあり9名の受講者に減少した。
この教室の主管を、平成28年2月から国内事業委員会にお願いすることにし、広報活動に力を入れ近隣でのポスティングを実施する。

9、広報活動

【かわらばん】

年4回発行のACAの活動紹介の情報季刊誌である。本来は広報事業委員会主導の活動ではあるが委員会のメンバーの減少もあり、現在事務局にてレイアウト作成、原稿依頼、英訳手配、印刷発注校正等を実施してきている。

【コスモネット】

「広報あしや」の英訳、紙面印刷、登録外国人への発送等の一連の活動であるが、これらの作業を担うボランティア担当者5~6名(ネイティブの校正含む)により月初めに発行を重ねている。

【JCOM】

姉妹都市学生親善使節交換事業を市民により詳しく紹介するため、今年度は訪米するSAに紹介用の動画を撮影してもらいSA.HAの募集時の紹介イベントに利用する傍ら、JCOMにも活用して貰い広く市民向けに放映した。

次年度は、姉妹都市提携55周年の広報番組を特集として、「受け継がれるモンテベロ市との絆~モンテベロ市・芦屋市 姉妹都市提携55周年」のテーマで、取材を進める予定をしている。

11、他団体の各種イベントへの後援について

- ・ 第27回国際美術工芸協会展 (7/7~8) 「国際美術工芸協会」
- ・ インディアン・メーラー2015 (10/10~12) 「インディアン・メーラー実行委員会」
- ・ 関西ネパールフェスティバル (1/23) 「アジア女性自立プロジェクト」
- ・ おやこふれあい人形劇 (3/5) 「マドリーナ」
- ・ 日本語・母国語スピーチ大会
in 芦屋2016 (3/20) 「こくさいひろば芦屋」
- ・ ふれあい芦屋マダン2016 (3/26) 「こくさいひろば芦屋」

12、総会、理事会、常任理事会、各種委員会の開催

- ・定例総会 (5/30) 1回
- ・理事会 (5/23、5/30(臨時)、7/1、3/26) 4回
- ・常任理事会 11回
- ・専門委員会の開催
 - 広報事業委員会 11回
 - 外国人支援委員会 11回
 - 国内事業委員会 11回
 - 国際事業委員会 11回
 - 特別委員会 (芦屋市、モンテペロ市 市民訪問団) 04回

13、会員数 (3/31 時点)

- ① 正会員 26名
- ② 賛助会員 155名
- ③ 団体会員 1団体

14、物的サービスを受けたもののうち主なもの

- ・11月に会員から卓球台の寄贈があり活用中。(202室に設置)

15、会務の主要変更事項

- ・2016年度の賛助会員の会費については、3月開催の理事会にて、4月1日より現行の¥2,000から¥3,000に値上することを決定した。

以上